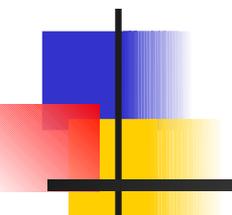


福岡高等裁判所

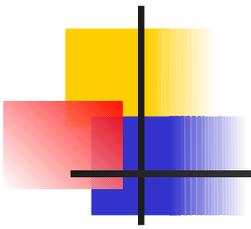
2024年12月16日



**伊方原子力発電所の稼働を止め、
廃炉をめぐる法廷での意見陳述**

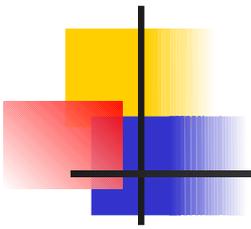
原告共同代表 松本文六

(社会医療法人財団 天心堂へつぎ診療所 総合内科診療医)



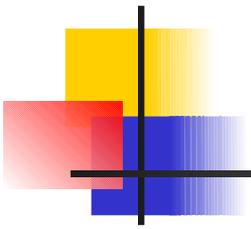
松本文六の略歴

- 1942年生 82才
- 1971年 九州大学医学部卒 / 医師免許取得
- 1971～1979年8月 福岡市で勤務医
- 1980年9月 天心堂へつぎ病院を開設 院長
この33年間、社会医療法人財団天心堂の総責任者として就任
* 2000年次には大分市南西部を起点に広域地域
包括医療・介護(ケア)システムを確立
(大分県での地域包括ケアシステムのモデルを作った)
- 2013年7月31日 天心堂理事長を退任
- 以後、天心堂へつぎ診療所勤務



原告は裁判に何を求めているのか

- ■ 原告のほとんどは、2011年3月11日の福島第一原子力発電所の過酷事故のようなことが伊方原発で起こったらとても怖いと思ったからです。
- ■ 放射能汚染と放射性物質が自然と人間にすさまじい多大な障害と破壊をもたらしていることを知っているからです。
- ■ これを未然に防ぐには伊方をはじめすべての原発稼働の中止と廃炉しかないと考えました。
- ■ その裏には、いくつかの放射能・放射性物質による自然と人間への損傷と破壊の記憶があるからです。

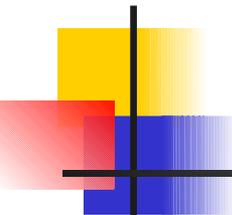


その恐怖心とおののきはどこから？

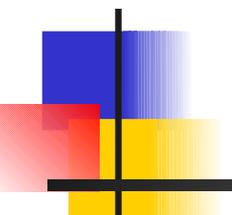
1. 1945年8月の広島・長崎への原子爆弾の投下によって合計21万人有余の死者と15万人有余の被曝負傷者の姿を広島・長崎二つの資料館で直接視察見学の体験からの記憶です。
2. 1954年3月1日のビキニ環礁での核爆発実験で、第五福竜丸他の1万有余に及ぶ漁民・船員たちが、14日間以上の遷延性被曝によって残酷な健康被害をこうむりました。被災者の一人、久保山愛吉さんは6カ月後の9月23日に逝去。
3. 1979年3月のアメリカのスリーマイル島原発事故。
4. 1986年4月26日のウクライナのチェルノブイリ原発事故。
5. 2011年3月11日の福島第一原子力発電所の過酷事故（以後“311事故”と呼ぶ）による放射線による自然の汚染と子どもの甲状腺がんなどの健康障害をもたらしました。

原発を恐れる最大の理由は“核”

- 核兵器 → Nuclear weapons
 - 原子力発電所 → Nuclear power plant
- ↓
- 直訳すれば “核力工場(設備)”
- 二つの言葉のキーワードは“核”です。
 - 私たち日本人は核兵器と原子力発電は全く別物と思い込まされてきました。
 - 原発は電力と考え込まされてきました。
 - いずれも核分裂を前提としています。
- ↓
- 政治は
 - 軍事利用には → 核兵器
 - 平和利用には → 原子力発電所



放射線による健康障害



311福島事故に伴なった
健康障害の種々相

1 こどもの甲状腺がん

- 2021年9月30日現在の福島県県民健康調査のデータ
《 こどもの甲状腺がん及び疑い例 274例 》

(福島県立医大の集計外の患者を併せると301人に達する)



《 悪性または疑い例 227例の手術例の内訳 》

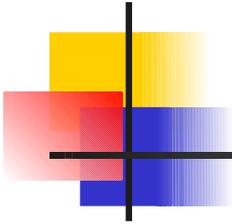
甲状腺の全摘出は 8.8%で、片葉切除 91.2%

術後リンパ節転移 77.6%

甲状腺被膜外浸潤 39%

1例は良性腫瘍

- * 2022年8月11日現在では、311事故時18才未満でこどもの甲状腺がん罹患したこどもは合計338人
2024年3月時点では360例超



311事故での こどもの甲状腺がんを否定する日本

- 元首相経験者5人が、2022年1月17日に EU に
原発稼働推進を止めるようにという書簡を出した。
その中で、福島で多くの子どもたちが甲状腺がんを苦しんでいる
ことを記していたことに関し、山口壮環境相は、
それは、「放射線によるものではない」と反論。

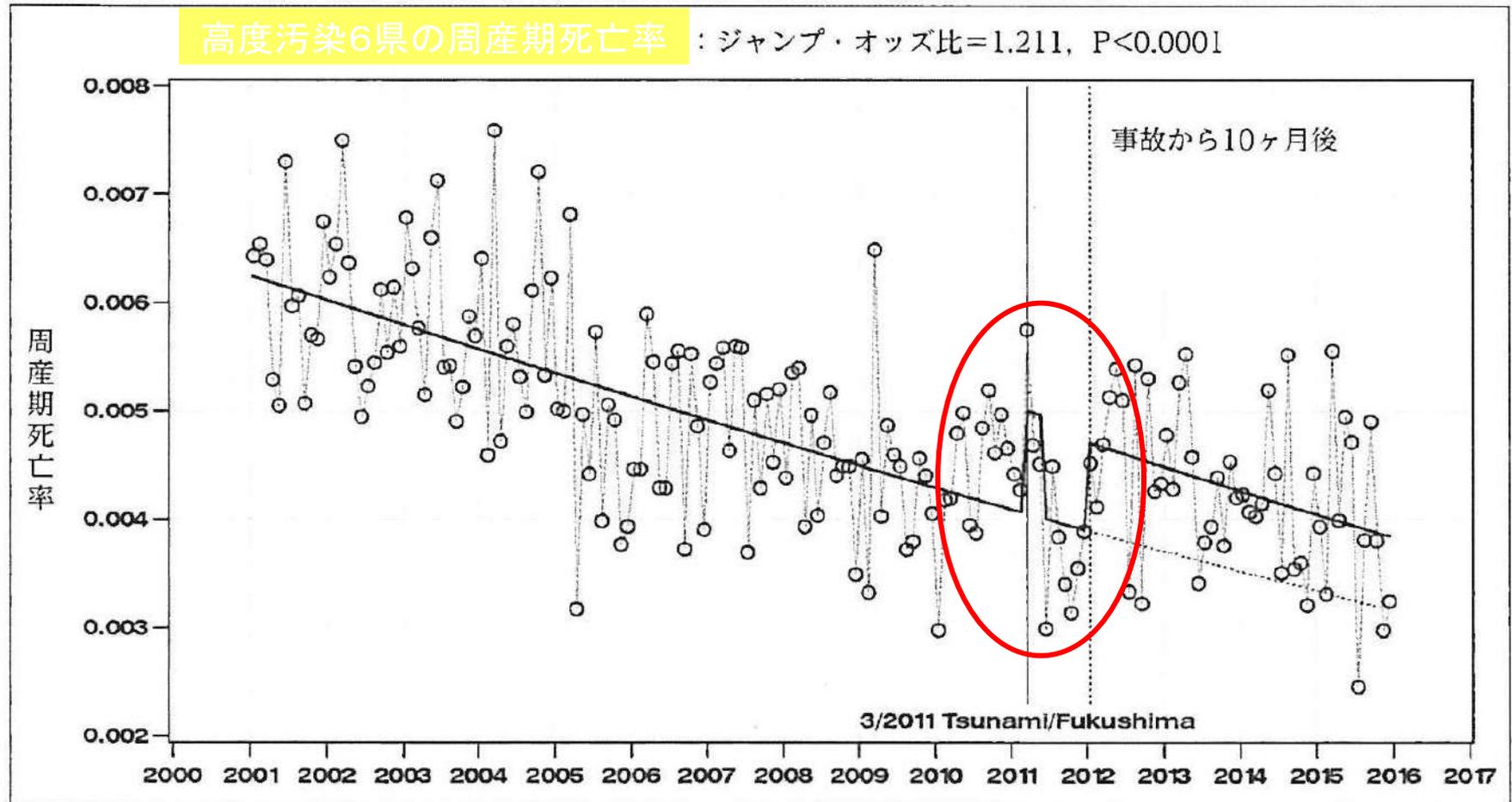


- これに対して、5人の元首相経験者は、公開質問状を
山口環境相に提出。
 - ① 266人中222人が手術でがんと確認されている
ことを否定する根拠は？
 - ② 放射線でないとするれば、福島の小児甲状腺がん
の原因は？

* この2つの質問の回答はいまだになされていない。

311事故による放射線の健康障害 - 2 -

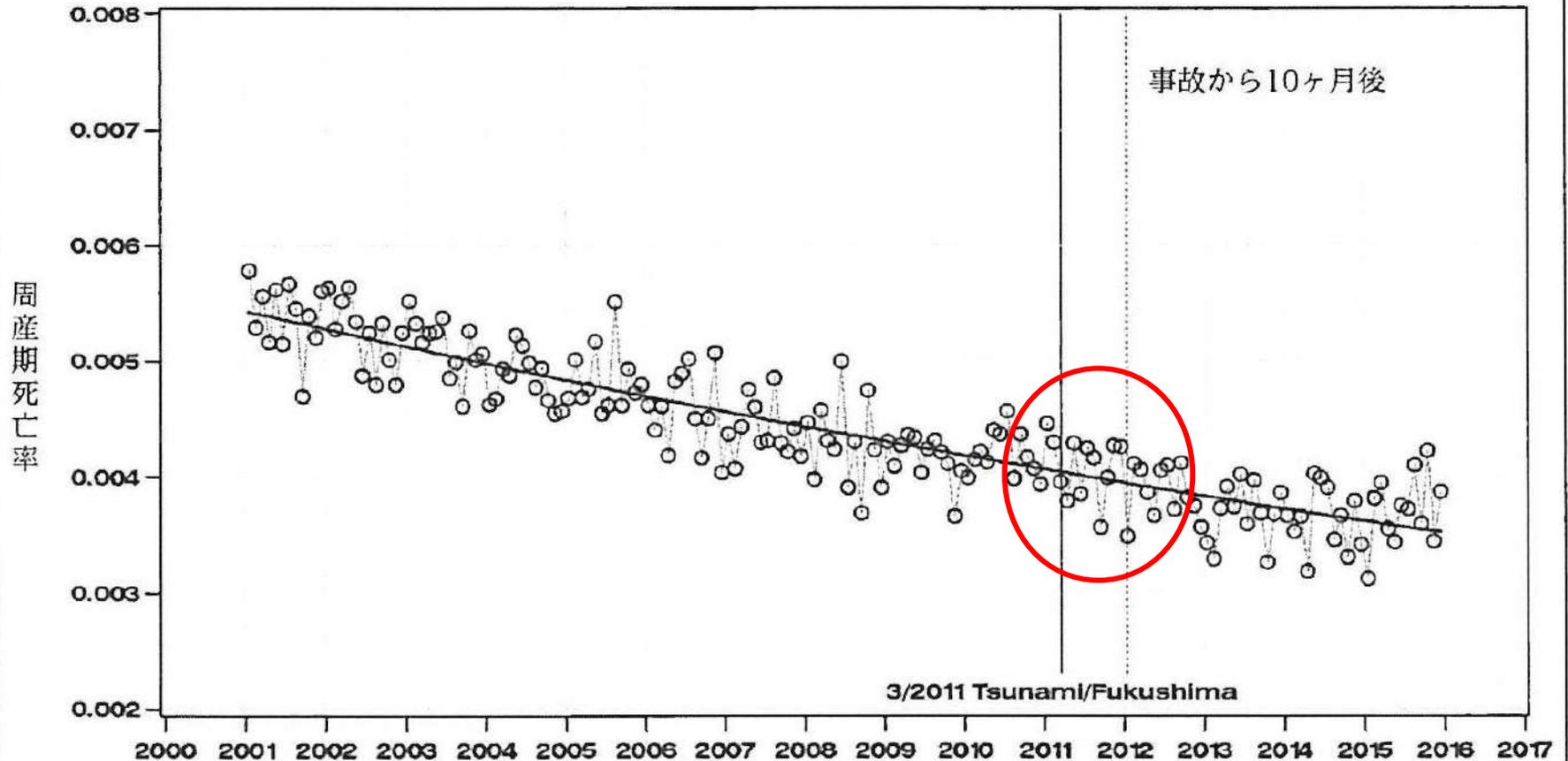
下の図表と次のスライドを参照すれば、福島原発事故の年の周産期死亡が他県のそれと比べると明らかに増えていることがわかる



汚染された福島県、群馬県、茨木県、岩手県、宮城県、栃木県(6県)の周産期死亡のトレンド

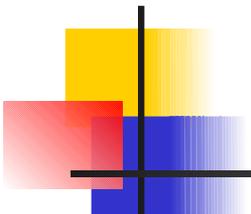
311事故による放射線の健康障害 - 3 -

汚染がない軽度36道府県の周産期死亡率 : ジャンプ・オッズ比=0.999, P=0.9646



中レベルに汚染された3つの都県（千葉、埼玉、東京）と高レベルに汚染された6つの県（福島、群馬、茨木、岩手、宮城、栃木）を除いた日本の道府県における周産期死亡のトレンド

- 2 原発事故後、乳児の心臓外科手術件数の全国的な増加
 - ・ 1986年のチェリノブイリ事故後、近隣諸国の先天性心疾患の発生率が増加。
 - ・ 日本胸部外科学会は福島原発事故後から先天性心疾患に関するデータを集積(2007～2014年)。
高度な手術治療を必要とする複雑心奇形29種の年平均手術件数は、原発事故後14.2%有意に増加。
- 3 原発事故後、停留睾丸の手術件数が全国的に増加
 - ・ 2010～2015年度の停留睾丸の手術退院件数は、震災後には13.5%有意に増加。3歳未満の推定手術件数を用いた場合には、16.9%と明らかに有意の増加が認められました。
- 4 胃がん
 - ・ 全国がん登録データからみた福島県の胃がんは、男女とも2012年以降2020年までの間、2012年以前に比し、9年連続で増加している。



311事故による放射線の健康障害 - 5 -

1 胆のう・胆管がん

- ・ 男女とも胆のう・胆管がんは、標準化罹患比から見ると、全国平均(100)を2011年以降連続して超えています。

2 前立腺がん

- ・ 標準化罹患比では、2008年～2011年以前は、60台であったが、2012年以降は、2013年(98.3)を除いて2018年まで全国平均100の大台を毎年越しています。

3 伊方原発周辺地域の異常な白血病死者数

- ・ 伊方原発が全基稼働中の2010年に、大分県姫島村の白血病死者数は、人口10万人当たりの白血病死者数が50人を上回る全国平均の7.24倍。原発のある伊方町で5.83倍、対岸の山口県柳井市で2.24倍、広島県大崎上島で7.50倍、遠く離れた香川県香西町で4.77倍。

* 毎日毎日、1億4,520万ベクレルという多量のトリチウムが、瀬戸内海に流し込まれている。生物環境に大きな影響を

放射線による健康障害を隠す動き - 1 -

- 1 広島・長崎で亡くなった方々および生き残った被爆者に関するすべての医学的データは敗戦後アメリカに持ち去られました。
- 2 ビキニ環礁事件に巻き込まれた日本人漁師・船員の健康障害の実態について、医学教育の中で語られたことはありません。彼らの健康障害の一部が公開されたのは、何と事件30年後の1984年で、その全容が公開されたのは、さらに30年後の2014年3月のことでした。
2020年7月、日弁連は、第5福竜丸事件に関して、元船員らの健康障害に対する救済措置を求める意見書を内閣総理大臣と国会に提出。
- 3 第五福竜丸事件を契機に、
1954年 国連内に、UNSCEAR
1957年 放射線医学総合研究所(旧 放医研) の開設
(2022年4月1日に量子科学技術研究開発機構
量子生命・医学部門放射線医学研究所に改組される)

- 4 当時の福島県立医科大学の副学長山下俊一氏の“ニコニコ”発言
2011年3月21日の福島市内の講演会で、山下氏は以下の発言をした。曰く、

「放射線の影響は、実はニコニコ笑っている人には来ません。クヨクヨしている人に来ます。これは明確な動物実験で分かっています。」と。

- 5 福島県県民健康調査検討会及び一部の甲状腺専門医らは、
- 2011～2013年の先行検査以降、すべての健康調査で発見された小児の甲状腺がんは、“スクリーニング効果”であり、“過剰診断”によるものだと声高に主張しつづけた。
 - しかし、手術例を重ねるにしたがって、“スクリーニング効果”と“過剰診断”という言葉辞(言説)は否定され続け、2022年5月24日日本内分泌・甲状腺外科学会で完全に否定されました。

- 福島県民が最終的に依拠する福島県立医科大学の副学長であり、放射線の権威である専門医と喧伝されていた山下俊一氏であるので、原発事故に伴った放射線による健康障害に不安を持っていた庶民は、いろいろな地区での彼の講演会における言葉を“素直に”受け止めた可能性は大。

しかし、これはまさに《**曲学阿世の輩**》の言葉である。

- 2020年3月4日の福島地裁『311子ども甲状腺がん裁判』の法廷で、原告側弁護人はこの発言を強く批判、撤回を求めた結果、山下氏は、しどろもどろにこの“ニコニコ”発言を撤回し、陳謝した。

発言から9年後のことであった。

6 UNSCEAR 2020年レポート

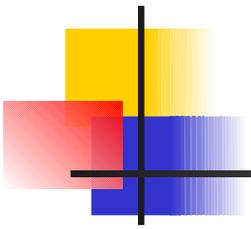
- UNSCEAR（原子放射線の影響に関する国連科学委員会）は、2021年3月9日、『福島第一原子力発電所事故に関する報告書』を公表した。以下の4点が強調されていた。

- (1) 放射線被ばくが直接の原因となるような将来的な健康影響は見られそうにない。
- (2) いずれの年齢層においても甲状腺がんの発生は見られそうにない。
- (3) 放射線被ばくが関係している先天性異常、死産、早産が過剰に発生したという確かなエビデンスはない。
- (4) 作業者に関して、白血病と全固形がん（甲状腺がんを含む）の発生の増加が見られることはありそうにない。

- このUNSCEAR のレポートの基になったのは、福島原発事故に関わったスクリーニング効果派（旧 放医研）の放射線科専門医 明石真言グループからの国連科学委員会への報告であった。

裁判所に望む - 1 -

- 原発一基を1年間稼働させるたびに広島原爆が燃やしたウランの優に1,000発分以上のウランを燃やす。
- 原発は原爆材料であるプルトニウムを生む。生み出されたプルトニウムを取り出す再処理技術は日本は持たないため、原発の使用済核燃料をイギリスとフランスの再処理工場で処理してもらって、プルトニウムを取り出していた。これまでその重量は45トンに達し、これで長崎型の原爆は4,000発作れるという。
- 使用済核燃料も処理できず、その最終処分場もつくられていない。日本の各原発に保管されている使用済核燃料に一旦火がつき爆発すれば、日本中が核・放射能汚染で崩壊してしまう。



裁判所に望む - 2 -

- このような理由で、私どもは手始めに伊方原発の稼働を止め、廃炉にすることを望みます。
- ウクライナのザポリージャ原発にロシアが核を打ち込むというマスメディアの報道に世界は一瞬にして縮み上がってしまいました。これが核に対する恐怖です。このような恐怖をもたせられないために今裁判で伊方原発稼働の凍結と廃炉を命じて下さい。
- 現在のような第三次世界大戦に突入しそうな世界情勢の中では、原発稼働の中止と廃炉判断が絶対に必要です。

以上